

## 平成25年8月期経営状況概要

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,339,120</b>	<b>193,712</b>	<b>956,523</b>	<b>40.9%</b>	<b>1,382,597</b>		
1. 営業収益	2,274,380	190,815	943,193	41.5%	1,331,187		
1. 給水収益	2,248,200	190,153	939,136	41.8%	1,309,064		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	26,180	662	4,058	15.5%	22,123		
2. 営業外収益	51,120	2,896	11,068	21.7%	40,052		
3. 特別利益	13,620	0	2,261	16.6%	11,359		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,182,799</b>	<b>140,894</b>	<b>393,155</b>	<b>18.0%</b>	<b>1,789,644</b>	<b>634,757</b>	<b>29.1%</b>
1. 営業費用	1,813,971	79,122	330,881	18.2%	1,483,090	553,940	30.5%
1. 原水及び浄水費	357,499	28,394	114,081	31.9%	243,418	211,321	59.1%
2. 配水費	207,928	22,093	87,260	42.0%	120,668	120,230	57.8%
3. 給水費	80,362	10,242	38,272	47.6%	42,090	50,844	63.3%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	116,239	9,233	39,105	33.6%	77,134	111,269	95.7%
6. 総係費	140,510	9,161	52,163	37.1%	88,347	60,277	42.9%
8. 減価償却費	888,068	0	0	0.0%	888,068	0	0.0%
9. 資産減耗費	23,365	0	0	0.0%	23,365	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	323,255	61,703	61,703	19.1%	261,552	61,703	19.1%
3. 特別損失	25,573	69	571	2.2%	25,002	19,114	74.7%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
<b>10. 資本的収入</b>	<b>1,180,969</b>	<b>△ 1,882</b>	<b>448,476</b>	<b>38.0%</b>	<b>732,493</b>		
1. 企業債	469,000	0	25,000	5.3%	444,000		
2. 負担金・補償金	493,833	△ 2,638	394,825	80.0%	99,008		
3. 補助金	89,078	0	0		89,078		
4. 出資金	122,076	0	21,007	17.2%	101,069		
5. 加入金	6,982	756	7,644	109.5%	△ 662		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
<b>11. 資本的支出</b>	<b>2,424,907</b>	<b>150,967</b>	<b>253,437</b>	<b>10.5%</b>	<b>2,171,470</b>	<b>956,605</b>	<b>39.4%</b>
1. 建設改良費	1,805,806	21,849	124,319	6.9%	1,681,487	827,487	45.8%
1. 取水施設整備費	68,340	0	0	0.0%	68,340	4,914	7.2%
2. 浄水施設整備費	166,325	0	0	0.0%	166,325	42,578	25.6%
3. 配給水施設整備費	1,268,153	19,649	83,427	6.6%	1,184,726	489,386	38.6%
6. 管理施設整備費	3,150	2,200	2,200	69.8%	950	4,400	139.7%
7. 消防設備整備費	0	0	0		0	0	
8. 災害復旧費	299,838	0	38,693	12.9%	261,146	286,209	95.5%
2. 企業債償還金	619,101	129,118	129,118	20.9%	489,983	129,118	20.9%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>40,186</b>	<b>4,366</b>	<b>10,776</b>	<b>26.8%</b>	<b>29,410</b>	<b>37,185</b>	<b>92.5%</b>
①有収水量	8,313,700	699,554	3,439,216	41.4%	4,874,484		
②供給単価	270.42	271.82	273.07	101.0%	△ 2.65		
③給水原価	258.40	201.31	114.15	44.2%	144.25		
<b>人件費</b>	<b>254,246</b>	<b>15,685</b>	<b>111,396</b>	<b>43.8%</b>	<b>142,850</b>		
1. 収益的収支	217,184	13,466	95,066	43.8%	122,118		
1. 職員給与費	216,318	13,378	94,893	43.9%	121,425		
2. 特別職（報酬、賃金等）	866	89	173	20.0%	693		
2. 資本的収支	37,062	2,219	16,330	44.1%	20,732		
* 職員給与費	253,380	15,596	111,223	43.9%	142,157		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.6%	7.0%	10.1%				
2. 全職員	11.3%	8.2%	11.8%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>38,515,396</b>	<b>38,634,574</b>	<b>119,177</b>	
*減価償却累計額	15,399,585	15,399,585	0	23,234,989
<b>B. 流動資産</b>	<b>2,400,403</b>	<b>3,113,528</b>	<b>713,124</b>	
1. 現金預金	1,635,302	2,191,823	556,521	
2. 未収金	536,132	591,739	55,607	
3. その他	228,970	329,966	100,996	貯蔵品・前払い金等
<b>C. 繰延勘定</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>D. 水道事業費用</b>	<b>0</b>	<b>382,786</b>	<b>382,786</b>	
1. 営業費用	0	320,540	320,540	
2. 営業外費用	0	61,703	61,703	
3. 特別損失	0	544	544	
<b>1. 借方合計</b>	<b>40,915,800</b>	<b>42,130,887</b>	<b>1,215,087</b>	=A+B+C+D
<b>E. 固定負債</b>	<b>50,000</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	・修繕引当金
<b>F. 流動負債</b>	<b>581,379</b>	<b>663,277</b>	<b>81,898</b>	
2. 未払金	251,213	213,490	△ 37,723	
8. 資本的収入整理勘定	326,164	385,805	59,641	3. 未払消費税4. 前受金含む
9. その他流動負債	4,002	63,982	59,980	
①下水道預り金	0	8,557	8,557	
②水道料金預り金	13	251	238	
③その他	3,989	55,175	51,186	・仮受消費税他
<b>G. 資本金</b>	<b>16,414,497</b>	<b>16,505,102</b>	<b>90,605</b>	
1. 自己資本金	5,222,669	5,417,392	194,723	・固有、繰入（出資）、組入
2. 借入資本金	11,191,828	11,087,710	△ 104,118	=企業債元金
<b>H. 剰余金</b>	<b>8,470,338</b>	<b>8,601,610</b>	<b>131,272</b>	
1. 資本剰余金	8,154,684	8,285,956	131,272	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	315,655	315,655	0	・H24利益
<b>K. 水道事業収益</b>	<b>0</b>	<b>911,313</b>	<b>911,313</b>	
1. 営業収益	0	898,472	898,472	
2. 営業外収益	0	10,581	10,581	
3. 特別利益	0	2,260	2,260	
<b>2. 貸方合計</b>	<b>40,915,800</b>	<b>42,130,887</b>	<b>1,215,087</b>	=E+F+G+H+K+減価償却累計額
<b>a. 供給単価（円、銭）</b>	<b>260.06</b>	=給水収益÷有収水量		
<b>b. 給水原価（円、銭）</b>		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	111.14	=原価算入額÷有収水量		
②シミュレーション	258.61	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
<b>c. 施設利用率</b>	<b>96.93%</b>	=一日平均配水量÷施設能力		
<b>d. 有収率</b>	<b>79.25%</b>	=有収水量÷配水量		
<b>e. 流動比率</b>	<b>469.42%</b>	=流動資産÷流動負債		
<b>f. 現金預金比率</b>	<b>330.45%</b>	=現金預金÷流動負債		

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

# 平成25年 8月期 業務実績報告書(水道管理課)

## 一般事項

### 1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,309	151,263	150,200	150,072	1,063	1,191
2 調定水量	m <sup>3</sup>	694,531	3,415,362	3,449,300	3,466,976	△ 33,938	△ 51,614
3 調定料金	円	190,153,350	939,135,985	939,900,000	945,212,135	△ 764,015	△ 6,076,150

### 2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,730	-	84,617	△ 887
6 給水件数	件	30,193	-	29,962	231
7 開栓処理件数	件	196	1,436	1,293	143
8 閉栓処理件数	件	182	1,111	989	122
9 給水工事設計審査	件	53	425	420	5
10 給水工事竣工検査	件	92	440	320	120
11 経年メーター交換	件	427	1,652	1,611	41
12 メーター口径変更	件	1	55	39	16
13 月末停止件数	件	△4	111	122	△ 11

### 3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	199,506,500 円	78.78 %	207,380,820 円	78.07 %
15 過年度分	5,791,464 円	96.98 %	7,924,730 円	95.93 %
16 全体(計)	205,297,964 円	-	215,305,550 円	-

### 4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	111	213

### 5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	74/82	4/6	18/24	3/5	24/25	1/1
契約締結						
一般	4	2	4	2	0	0
指名	46	0	10	0	21	0
随契	22	0	3	0	2	0
合計	72	2	17	2	23	0

※入札中止 当月 0 件:累計 0 件/入札不調 当月 2 件:累計 8 件/入札取消 当月 0 件:累計 0 件/未契約 2 件

### 6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	8	1	
中間検査	3	1	
合計	11	2	

### 7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
資産管理業務打合せ(MMS 計測車両展示)	8 日	マッピング・アセットマネジメントシステムについて
第 5 回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	8 日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
総合計画実施計画・修繕計画調整会議	8 日	26 年度計画内容協議
第 5 回安全衛生委員会	20 日	検診、講習会日程
第 5 回経営分析会議	21 日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命、その他
部長等連絡調整会議	22 日	第 3 回議会定例会、市行事日程
公営企業会計制度改正打合せ(人事課・医療・水道事業所)	22 日	退職引当金について
第 4 回事業調整会議	26 日	部長等連絡調整会議復命、事業調整
第 3 回資金運用委員会	26 日	資金の運用について
指名委員会	-日	第 14 回 8/8、第 15 回 8/13、第 16 回 8/28
入札会	-日	8/8、8/28
緊急メールの発出	-日	漏水 4、破損 3、市地震 1、水道地震 2 計 10 回
情報公開請求	-日	開示請求件数 0 件/11 件、開示文書 0 件/52 件

## 特記事項

### 1. 8月期の経営状況

#### (1) 予算執行状況等について

##### ①収益的収支

当期の給水収益は 190,153 千円で、7 月期に比べて 3,842 千円の増、対前年同月比では天候の影響により 7,524 千円の減となっていますが、累計では 939,136 千円、予算執行率 41.8%で昨年とほぼ同じ水準となっています。営業外収益は、2,896 千円、対前年同月比では 439 千円の増で、受取利息、事務手数料の増が要因となっています。

当期の水道事業費用は 140,894 千円で、7 月期に比べて 42,341 千円の増となっており、内訳として企業債償還金利子 61,703 千円を執行、営業費用では 19,242 千円の減で、修繕費減によるものです。前年同月比でも 54,290 千円の減で、予算執行率は 16.6%となっています。

##### ②資本的収支

当期の収入は、補償金 812 千円、水道加入金が 756 千円です。加入金累計額 7,644 千円で、予算執行率は 109.5%となっています。

支出は、150,967 千円で、配給水道事業設計費に 4,104 千円、車両購入費に 2,200 千円、企業債の元金償還金に 129,118 千円、繰越分では配水管移設工事費 12,516 千円を執行しました。

##### ③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品 4,366 千円を執行しました。

### 2. 今月の出来事

#### (1) 「新水道ビジョンとは」研修会を開催

新水道ビジョン研修会を 8 月 23 日に開催しました。平成 25 年 3 月に厚生労働省から公表された「新水道ビジョン」は、将来にわたって安全・安心な水を安定的に供給するための指針で、目指すべき方向やその実現方策、関係者の役割分担等が示されています。研修会には事業所職員をはじめ、上水道事業運営審議会委員、水道モニター、水道ブラスター、業務受託業者など 51 人が参加、講師には国の新水道ビジョン策定検討会委員を務めた岩手県矢巾町上下水道課職員の吉岡律司氏を招き、「これからのまちづくりと新水道ビジョンを考える」と題し、人口減少に伴う料金収入減少や老朽管の更新、人材育成等水道全体の共通課題や新水道ビジョンの概要をわかりやすくお話していただきました。事業所では、平成 21 年度に策定した「登米市地域水道ビジョン」の改訂に着手しており、平成 26 年度に上水道事業運営審議会の答申を受け、パブリックコメントのうち、公表する計画で作業を進めております。



#### (3) 8月期災害訓練開催

8 月期災害訓練を 8 月 27 日に実施しました。今月は停電対策訓練で、保呂羽浄水場の自家発電装置の作動等について訓練しました。



#### (2) 水道事業実施計画の見直し

平成 26 年度水道事業計画の変更を 8 月 29 日に実施しました。今回の変更は、市総合計画実施計画の見直しに合わせて 2 件の新規事業の追加と 3 件の事業内容を見直し、同時に水道事業実施計画の変更を行いました。新規事業は、保呂羽浄水場取水施設整備事業で、取水方式を中間ポンプ設置による二段汲み方式に変更する事業で、平成 29 年度の供用開始、総事業費 28 億円を見込んでいます。次に配水ブロック化事業で、新田配水池を築造する事業で、平成 28 年度の供用開始、総事業費 17 億円を見込んでいます。見直し事業については、事業内容・事業費の見直しを行い、それぞれの事業費を、配水連絡管事業で 1 億 1 千万円に、緊急遮断弁事業で 2 千 8 百万円に、ダクタイル鋳鉄管更新事業で 8 千 8 百万円に変更する計画としました。併せて修繕計画の見直しを行いました。

# 平成25年 8月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	933,345	4,486,634	4,320,180	4,490,286	166,454	△3,652
総配水量	901,979	4,339,862	4,187,500	4,329,847	152,362	10,015
1 有効水量	767,528	3,757,363	3,723,280	3,725,429	34,083	31,934
(1)有収水量	699,554	3,439,216	3,470,300	3,487,984	△31,084	△48,768
(2)無収水量	67,974	318,147	252,980	237,445	65,167	80,702
2 無効水量	134,451	582,499	464,220	604,418	118,279	△21,919
(1)漏水量	134,001	580,610	456,000	599,720	124,610	△19,110
(2)その他無効水量	450	1,889	8,220	4,698	△6,331	△2,809
3 有収率	77.56	79.25	82.87	80.56	△3.62	△1.31

※当月期の最大配水量は、13日(火)に記録した【31,657m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	7	68,340	2	4,914	0	0	63,426	7
イ 浄水施設整備事業	13	166,325	3	42,578	0	0	123,747	26
ウ 配給水施設整備事業	88	893,891	34	154,356	7	31,255	708,280	21
エ 繰越事業	23	674,100	16	541,485	7	90,865	41,750	94

\*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.80	0.47	0.35	0.50	0.38
最低	0.76	0.27	0.20	0.34	0.16
最高	0.86	0.66	0.40	0.65	0.59

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H25.8.22	<0.70	<0.80	錦織水系浄水場	H25.8.22	<0.60	<0.90
石越浄水場	H25.8.22	<0.70	<0.60	米谷水系浄水場	H25.8.22	<0.80	<0.60
大萱沢浄水場	H25.8.22	<0.70	<0.70	楼台浄水場	H25.8.22	<0.90	<0.70
米川水系浄水場	H25.8.22	<0.60	<0.60	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 豪雨による北上川の高濁が発生

8月9日は、秋田県、岩手県でこれまでに無いほどの集中的な雨が降り、この影響で北上川の水位が上昇し、さらには水質も高濁となり下り松取水塔付近では10日の午前中に保呂羽浄水場の処理能力の限界値(濁度1,000度)に近づいたことで、上流側の状況調査と一体的に採水した試料を使って、ジャーテスターによる凝集沈殿の実験や薬品注入率試験などを試みながら不測の事態に備えるための準備をおこなったところであります。

12時30分の原水濁度が976度まで上がった時点で取水を一旦停止して、14時から1台の取水ポンプの稼働により事前に準備した対応処置を実施した結果、浄水処理が良好であることが確認でき、16時30分には取水ポンプ2台運手を開始して、配水池残量の確保とともに、通常運転に向けた監視を翌日の夕方まで続けました。濁度の最高値は1,545度を記録しております。

この経験を今後に生かすために、管理運転業務受託者の協力を得て「原水高濁時の運転対応手順書」を作成しましたので、近年の異常気象に対処したいと思っております。



### 2 雷による大萱浄水場の電話回線が不通となる

27日、早朝に大萱浄水場の警備会社から回線異常の連絡が入り、現場にて確認したところ、電話回線が不通の状態になっていた。早速NTTへ調査依頼を行い13時には回線異常は復旧しました。原因は雷によるものであります。

### 3 ドイツのボーイスカウトが 保呂羽浄水場を見学

ドイツから登米市内に研修に来ていた7人のボーイスカウトが1日に保呂羽浄水場に来場し、熱心に見学して行きました。

ドイツの水道水は日本と同じく飲用可能で、大きく違うことは、日本が軟水でドイツは硬水です。

硬水に慣れていない人が直接飲用すると、お腹をこわすこともあるそうですので少しずつ慣らしていくと良いとのことでした。



### 4 平成25年度漏水調査の実施について

有効率及び有収率の向上対策として、今年度で予定している漏水調査業務を5月29日締結し、現在までに50件の漏水を発見しております。調査距離は255kmで個別音聴調査は10,200栓を予定しておりますが、年度末までにできるだけ経済効果が上がるよう調査を進めてまいります。

### 5 地震発生状況

4日に宮城県沖を震源とするM6.0(震度4)の地震発生しましたが水道施設には異常ありませんでした。